

「ヒューマンライツ・フェスタ東京 2018」実施報告

(人権部ホームページより転載)

平成 30 年 11 月 6 日(火)、12 月 8 日(土)、9 日(日)に「ヒューマンライツ・フェスタ東京 2018」を開催しました。

11 月は新宿駅西口広場イベントコーナーで、12 月は東京国際フォーラムでの開催となりました。両会場ともに、多くの方にご来場いただきました。

11 月 6 日 (火) 新宿駅西口広場イベントコーナー

【ステージ】

○東京ドロンパ ステージショー

FC 東京のマスコットキャラクター東京ドロンパによる、ダンスショーを行いました。東京ドロンパの軽快なダンスや筆談トークに、みなさんの笑顔がはじけました。

○村崎太郎氏トーク&猿まわし

日光さる軍団で有名な村崎太郎氏に、ご自身の体験をもとに、猿まわしの歴史や、同和問題について、また差別解消に向けたお気持ちをお話しいただきました。

村崎氏のトークの後は、お弟子さんによる猿まわしの実演が行われました。お猿さんのかわいらしさと大技の連発に、大勢のお客さんから大きな拍手が起きました。

○“全盲のシンガーソングライター”木下航志氏ライブ

未熟児網膜症のため生後 1 か月で失明し、2 歳からおもちゃのピアノを弾き始め、8 歳からストリートライブをスタートさせた木下航志氏。目の光を失っても希望の光は失わない、木下氏の演奏と歌唱を耳にした通りすがりの方々がどんどん集まって来て、会場にあふれんばかりの人だかりとなりました。



東京ドロンパステージショー



村崎太郎氏トーク



猿まわし



木下航志氏ライブ

【パラリンピック競技体験会】

○パラ競技用車椅子体験・義足体験

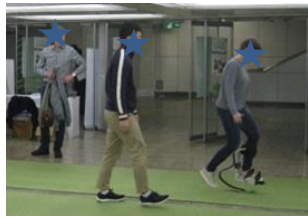
パラ競技で使用する車椅子や義足の体験をしていただきました。競技用車椅子は背もたれが無かったり、車輪がハの字になったりと通常の車椅子と形状が異なります。その車椅子でダッシュしたりターンしたりと競技の動かし方を体験していただきました。また、義足は実際に装着するとバランスを取るのが想像以上に難しかったです。この車椅子や義足を使って競技を行うアスリートの技術の素晴らしさを体感していただきました。

○ボッチャ

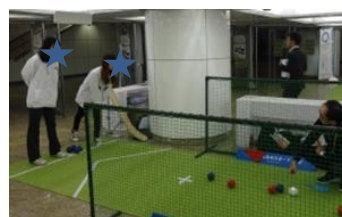
(公財) 東京都人権啓発センターの協力で、ボッチャ体験をしていただきました。どなたでも簡単に体験することができ、体験後はすぐに簡易なゲームができるので、参加者同士でゲームが始まり、多くの熱戦が繰り広げられました。



車椅子体験



義足体験



ボッチャ

【ブース出展】

○多磨全生園「人権の森」構想啓発ブース

多磨全生園のある東村山市に「人権の森」構想啓発のブースを出展していただきました。多くの皆様に、ハンセン病患者の方々への偏見や差別の歴史を知っていただくとともに、「人権の森」構想についても、ご案内いただきました。

○東京 2020 大会 PR

板橋区の協力で、東京 2020 大会エンブレムパズルを設置。同じ数の 3 種類の異なった形の四角形で、オリンピックとパラリンピックのエンブレムが作られていることを体験していただくとともに、アンケートにお答えいただいた方に、エンブレムバッジも配布しました。

○拉致問題解決を願う署名活動

「北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（救う会）」と、「特定失踪者問題調査会」の方々による、拉致問題解決を願う署名活動が行われました。多くの方々にご署名いただきました。どうもありがとうございました。

【パネル展示】

東京都が取り組む様々な人権課題をパネルにし、皆様にご紹介させていただきました。また、東京都が作成した人権啓発冊子やリーフレットを展示するとともに、多くの方に配布させていただきました。



「人権の森」構想ブース



エンブレムパズル



パネル展示の様子

12月8日(土)、12月9日(日) 東京国際フォーラム

【ホールD7】

○講演（8日）

Tokyo International Children's Choir(東京インターナショナルチルドレンズクワイヤ)の皆さんの澄んだ歌声で開会しました。多国籍の子供たちによる合唱は、スポーツで世界が一つになるオリンピック大会を思い起こさせてくれました。

その後、バンクーバーパラリンピックパラアイスホッケー銀メダリストの上原大祐氏による講演が行われました。障害者へのバリアーがまだまだ根強い現状や、バリアフリーとして作られている設備が障害者には使いづらく、「デザイナーのファンタジーではないか」といったお話に、講演を聞いた方々からは、「上原さんの言葉にハッとさせられました」「気づかされたことが多かった」などのご意見が多数寄せられました。



子供たちの合唱



上原大祐氏の講演

○みんなをつなぐコンサート（8日）

様々な人権課題を抱えた当事者の方々によるパフォーマンスを行いました。

知的障害がある若者たち「ドリームエナジープロジェクト」による演奏やダンス、「レラの会」によるアイヌ古式舞踊、片腕のギタリスト&ドラマー「輝彦 (OAMO) 氏」

による力強い演奏、日本人の父親とガーナ人の母親の間に生まれ差別やいじめを経験した「矢野デイビット氏」によるピアノ弾き語り、聴覚障害がありながら踊る「Globalizm」のデフダンス、LGBTのヴォーカリスト「マリアセレン氏」の大迫力の歌唱など、その素晴らしいパフォーマンスだけでなく、当事者としてご自身の経験をお話していただくことで、いろいろな気づきを与えていただきました。感動と笑顔に会場は包まれました。



ドリームエナジープロジェクト



レラの会



輝彦 (OAMO) 氏



矢野デイビット氏



Globalizm



マリアセレン氏

○映画上映会「SING/シング」「カランコエの花」「ドリーム」(9日)

人権課題がテーマとなっている三本の映画を上映しました。

全ての人の中にある輝ける部分を見出すことをテーマに、登場人物を動物に置き換えて数々のヒットソングに乗せて描くミュージカルアニメ「SING/シング」。性的マイノリティの抱える問題をありふれた日常の中で描き、LGBTは自分の身の回りにある、決して他人事ではないと考えさせてくれる「カランコエの花」。1960年代、アメリカ合衆国のNASAのロケット打ち上げ計画を陰で支えたアフリカ系女性たちの奮闘を、実話に基づき、当時の人種差別や女性差別も併せて描いた「ドリーム」。

多くの方々にご来場いただき、映画を通して、様々な人権問題について考えていただきました。

【ホールD5】（8日）

○多文化共生プレゼンコンテストと東京人権啓発企業連絡会による取組紹介。

「多文化共生社会の実現」をテーマに、大学生たちが熱のこもったプレゼンを繰り広げました。参加された方からは「認識を見直すきっかけになった」「学生たちの熱意が伝わった」とのご意見がありました。また、今回は留学生チームが初めて参加しました。日本人とは少し違った認識からのプレゼンに、文化が異なれば考え方も異なるという多文化のあり方を実感しました。

その後、東京人権啓発企業連絡会による人権に対する企業の取組の紹介も行われ、説明が丁寧で企業の取り組みがよく分かったと好評でした。

【D5・D6ホワイエ】

○人権課題パネル展

D6ホワイエでは、同和問題など、様々な人権課題の啓発パネルを展示いたしました。また、D5ホワイエでは、美大生によるポスター展「ポスターで伝える人権」を行いました。美大生のポスターはイラストとコピーの内容がとても素晴らしく、多くの方から好評でした。（D5ホワイエは8日のみ開催）



プレゼンコンテストの様子



人権パネル展示



ポスターで伝える人権

【ホールD1】（8日・9日）

○バリアフリー体験

車椅子に乗っての段差体験や、アイマスクをしての歩行体験など、実際に体験することにより、「何がバリアフリーに必要か」、「どうすれば障害のある方を上手にサポートできるか」「視覚障害の方が連れている盲導犬に対してどう対応すればよいのか」といったことを体験していただきました。

○民族衣装体験

世界には多くの国があり民族があります。そのことを体感していただくために、世界11か国の民族衣装を着ることができる体験会を実施しました。それぞれの民族や国の説明パネルで学びつつ、カラフルな民族衣装を着て写真を撮ったり、会場の外に散歩に出たりと、楽しんでいただきました。



バリアフリー体験



盲導犬への対応体験



民族衣装体験

※ バリアフリー体験及び民族衣装体験は、法務省委託「人権ユニバーサル事業」として実施しました。

【ロビーギャラリー】（8日・9日）

○障害者スポーツ体験会

車いすバスケットボール・ブラインドサッカーを行いました。どちらの競技も、パラリンピックの正式種目で、漫画やアニメになっていることもあり、小さなお子様からご年配の方々まで、多くの方々に体験していただきました。ブラインドサッカーを体験された方からは「視覚を遮られることがこれほど大変だとは思わなかった。」との意見が多く寄せられました。

○ボルダリング

2.5mのボルダリングの壁に多くの方にチャレンジしていただきました。

視覚障害の方が行うことを初めて知ったという方も多く、アイマスクをしてのボルダリング体験もしていただきました。



車いすバスケットボール



ブラインドサッカー



ボルダリング

○車椅子に座ったまま着物が着られる体験会

車椅子に座ったままでも着物がワンタッチで着られるので、車いすの方をはじめ、外国人の方や親子連れの方など、多くの方に体験していただきました。体験していただいた方のほぼ全員が写真を撮っていくなど、みなさん大喜びでした。

○東京 2020 大会 PR

新宿駅西口会場に引き続き、こちらでも、東京 2020 大会エンブレムパズルを設置しました。多くの方々に、エンブレムに込められた思いをお伝えしました。

○拉致問題解決を願う署名活動

新宿駅西口会場に引き続き、署名活動を行いました。多くの方々がご署名ください

ました。どうもありがとうございました。



着物体験



エンブレムパズル



拉致問題署名活動

○革でつくる犬のキーホルダー

(公財) 東京都人権啓発センターの協力で、実施しました。短時間で可愛いキーホルダーが作れるということで、多くの方が参加されました。時間帯によっては、お待ちいただく方もいらっしゃるほどでした。

○ヒューマンアートギャラリー

高校生・著名人の人権メッセージや人権パネル展示、ミニシアター上映会を行いました。今年はパネルの並べ方を並列形からY字形にしたので、通り抜けしやすく、多くの方にご覧いただきました。また、ミニシアターはソファに座り休憩がてら見ていく方が多かったです。



キーホルダー体験



キーホルダー実物

(写真は昨年のももの)



ギャラリーの様子

【地上広場】

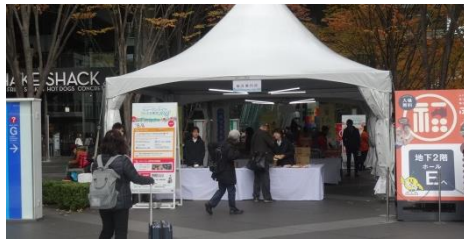
○障害者就労施設（8日）・復興支援3県（9日）による物販

8日は、障害者の就労支援を目的として、杉並区、調布市、多摩市の障害者就労施設の方々にご出店いただき、パンやお菓子、アクセサリー、グリーティングカード、バッグなど、たくさんの手作りの商品を販売していただきました。また、9日は、東日本大震災からの復興支援を目的として「岩手県」「宮城県」「福島県」の販売店にご出店いただきました。

両日ともにとっても寒い中、多くの方々にお立ち寄りいただき、お買い上げいただきました。商品の購入を通じて、障害者の就労支援や被災地の復興支援にご協力をいただきました。ありがとうございました。



物販の様子



総合受付の様子